

札幌オフィスで、10月からの講座について話し合いを進める
黒滝センター長(右から2人目)ら



1次産業をビジネスに ノウハウ伝授します

東農大が無料の社会人講座

東京農大オホーツクキャンパス(網走市)が10月、北海道の農林水産業の6次産業化を担う人材を育てることを目的とした無料の社会人講座を札幌市内で開講する。8月に中央区南1西4に開設した札幌オフィスを会場に、農作物などの生産、加工、流通を一貫して行うノウハウを同大の講師陣が伝授する。

同大と農都共生総合研究所(東京)、農業者の人材育成会社ニース(札幌市)の3者が連携し実

■来月13日から札幌で開講■

施。10月13日からは第1弾として、食品加工の安全・衛生管理や、食品開発における栄養の問題などを学ぶ「1・2・3次産業基本論」を4日間の日程で開講する。さらに11月は「経営・マーケティング基本論」、12月は「6次産業化実践論」など、6次産業化をテーマにした講座を継続していく。

同大は3年前から、網走市で社会人講座を開講してきたが、「販売や流通の拠点が集まる札幌でこそ、人材育成の意義がある」として札幌進出を決めた。同大オホーツク実学センターの黒滝秀久センター長は「原料供給基地にとどまっている北海道で、起業の視点を持ち、地域を引っ張る存在を育てたい」と話している。

定員30人。講座の申し込みは事務局 ☎050・3736・7960(平日午前10時～午後6時)へ。

(古田夏也)